

Access

アクセス

大阪、東京、福岡のいずれの会場でも受講いただけます。
受講日によって会場を変えることも可能です。

※ 空席がない場合もございますので、事前にお問い合わせください。

全国各地から
ご参加いただ
いています。

大阪会場 (大阪大学中之島センター)

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53

- 新大阪駅から20分、伊丹空港から最短45分
- 京阪線 中之島駅・渡辺橋駅より徒歩5分
- 阪神線 福島駅より徒歩5分
- JR環状線 福島駅より徒歩10分



東京会場 (日本橋ライフサイエンスビル)

住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11

- 東京駅より徒歩15分、羽田空港から最短45分
- 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」より徒歩3分
- JR総武快速線「新日本橋駅」より徒歩3分



福岡会場 (福岡商工会議所)

住所 〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2-9-28

- 博多駅より徒歩10分、福岡空港から最短12分
- 地下鉄祇園駅より徒歩5分



九州・中国地方からご参加しやすくなりました!



東京、福岡会場では大阪会場の講義をLIVE中継!
インタラクティブ配信で質問も可能!!

詳しくは
Webで!

お問い合わせ

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2
大阪大学国際医工情報センター
MEIプロフェッショナルコース事務局
URL: <https://mei.osaka-u.ac.jp/mdd>
Mail: mei-pro@mei.osaka-u.ac.jp

受付時間: 9:00-12:00
13:00-17:00
TEL: 06-6879-3384
FAX: 06-6879-3386

フェイスブック
もご覧ください



<https://www.facebook.com/MEI3Center/>



Medical Device Design Course 2019

日本からめざす、 医療機器開発のスペシャリスト

2019年

6月開講

平日忙しい方にうれしい“土曜日”開催
仕事と両立しながらムリなく通えます!

開催場所 3会場ともにビジネスディストリフトで便利!

大阪会場: 大阪大学中之島センター
東京会場: 日本橋ライフサイエンスビルディング
福岡会場: 福岡商工会議所

受講期間

6/1(土) ~ 10/19(土)

※ 天候等の都合により日程は変更になる可能性があります。

詳しくはWEBにて!

MEI MDD 検索

<https://mei.osaka-u.ac.jp/mdd>



申込受付開始

2019年
2月20日(水)

医療機器開発のスペシャリストを育む充実のカリキュラム

下記は2018年度の講義内容です。
今年度は一部が変更になります。

1 1日目	I	精神医学の臨床現場と医療機器	大阪大学医学系研究科精神医学	田中 稔久		大阪大学医学系研究科精神医学	田中 稔久
	II	呼吸器外科診療の実際	大阪大学医学系研究科呼吸器外科学	新谷 康			
	III	心臓血管外科の現場から	大阪大学医学系研究科心臓血管外科学	吉川 泰司			
	IV	糖尿病の治療 ～治療の現状と根治に向けた取り組み～	大阪大学医学系研究科内分泌・代謝内科学	宮下 和幸			
2 2日目	I	放射線治療で求められる医療機器	大阪大学医学系研究科放射線治療学	水野 裕一		大阪大学医学系研究科放射線治療学	水野 裕一
	II	IVR（画像下治療）の実際とデバイスの現況	大阪大学放射線医学講座/医学部附属病院 IVRセンター	大須賀 慶悟			
	III	麻酔集中治療領域における医療機器の現状と今後の展望	大阪大学医学部附属病院集中治療部	坂口 了太			
	IV	人工関節の現状と展望	大阪大学医学系研究科官制御外科学（整形外科）	坂井 孝司			
5 5日目	I	医療機器開発におけるマーケティングと出口戦略	サムエルプランニング株式会社	宮坂 強		サムエルプランニング株式会社	宮坂 強
	II	医療機器開発における組織マネジメント	サムエルプランニング株式会社	宮坂 強			
	III	医療機器開発におけるビジネス分析	エバマーケティング合同会社	津嶋 誠			
	IV	医療機器における承認・認証制度	医療機器センター附属医療機器産業研究所	石黒 克典			
6 6日目	I	リスクマネジメントと ISO 14971	医療機器安全研究所	萩原 敏彦		医療機器安全研究所	萩原 敏彦
	II	医用電気機器と IEC 60601-1	医療機器安全研究所	萩原 敏彦			
	III	EMC（電磁両立性）の実際	一般財団法人日本品質保証機構（JQA）	芝田 侯生			
	IV	ユーザビリティエンジニアリングと IEC 62366-1	株式会社 ULJapan	吉田 賢			
9 9日目	I	医療機器開発に必要なデザインとクリエイティビティ	株式会社 VORONOI	大浦 イッセイ		株式会社 VORONOI	大浦 イッセイ
	II	医療機器開発における臨床ニーズのクリエイティビティ	森ノ宮医療大学	西垣 孝行			
	III	漏れ電流・EPRの予備知識	大阪大学医学部附属病院臨床工学部	楠本 繁宗			
	IV	【機器実習】漏れ電流・EPR実習	大阪大学医学部附属病院臨床工学部	楠本 繁宗			
	V	【機器実習】除細動器とAED	日本光電工業株式会社				
	VI	【機器実習】パルスオキシメーター・血圧計	日本光電工業株式会社				
10 10日目	I	医療機器開発のためのリスクマネジメント実習	医薬品医療機器総合機構（PMDA）	岩元 真		医薬品医療機器総合機構（PMDA） 吉田・西枝法律事務所	岩元 真 吉田 昌功
	II	医療機器編（市販前・市販後）	吉田・西枝法律事務所	吉田 昌功			
	III						
	IV						
	V	医療機器開発のための知財実習	特許業務法人 前田特許事務所	長谷川 雅典			
	VI						
13 13日目	I	我が国の医療機器開発環境の現状と近未来 - 医工・産学官連携による医療機器のイノベーション戦略 -	大阪大学国際医工情報センター	妙中 義之		大阪大学国際医工情報センター	妙中 義之
	II	看護の立場から見る医療現場と医療機器 ～高齢化時代の病院と認知症ケアの現場から～	市立豊中病院	大久保 和実			
	III	機動動脈穿刺に適した手台開発をして辿り着いた場所 ～商品化・販売までの道のり～	新久喜総合病院	澤海 綾子			
	IV	人工網膜の研究開発	大阪大学医学系研究科	神田 寛行			
	V	福祉ロボットの安全設計と商品化の課題	大阪工業大学	本田 幸夫			
14 14日目	I	体外診断用機器、試薬の開発	シスメックス株式会社	浅野 薫		シスメックス株式会社	浅野 薫
	II	ベンチャー企業にあるものとなないもの ～ハイパーサーミア機器の開発を通じて～	株式会社アドメック	中住 慎一			
	III	医療機器開発から販売までの取り組み ～医工連携と参入課題への対応～	山科精器株式会社	保坂 誠			
	IV	カメラから胃カメラ、そして内視鏡の時代へ	医療機器センター付属医療機器産業研究所	高山 修一			
	V	ダーウィンの海にもまれながら	株式会社 IFG	森 和美			
	VI	医療機器ベンチャーにおける資本戦略	大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社	水原 善史			
3 3日目	I	消化器診療における内視鏡機器の意義と展開	大阪大学医学系研究科消化器内科学	林 義人		大阪大学医学系研究科消化器内科学	林 義人
	II	わかったようでわかっていない胎児の生理学的指標	大阪大学医学系研究科産科学婦人科学	木村 正			
	III	救命救急と医療機器	大阪大学医学系研究科救急医学	竹川 良介			
	IV	消化器外科の臨床現場と医療機器	大阪大学医学系研究科消化器外科学	高橋 剛			
4 4日目	I	泌尿器診療における工医学	大阪大学医学系研究科泌尿器科学	野々村 祝夫		大阪大学医学系研究科泌尿器科学	野々村 祝夫
	II	循環器医療最前線 疾患・病理編	大阪大学医学系研究科循環器内科学	坂田 泰史			
	III	循環器医療最前線 治療編	大阪大学医学系研究科循環器内科学	坂田 泰史			
	IV	脳神経外科領域における医療機器	大阪大学医学系研究科脳神経外科学	押野 悟			
7 7日目	I	生物学的安全性試験	一般財団法人 食品薬品安全センター	金澤 由基子		一般財団法人 食品薬品安全センター	金澤 由基子
	II	医療機器開発のプロジェクトマネジメント～ニーズ探索・コンセプトデザイン・開発インプット～	朝日インテック株式会社	西内 誠			
	III	医療機器をとりまく行政の役割と施策	厚生労働省	渡利 彰浩			
	IV	QMSとISO13485	一般財団法人 日本品質保証機構（JQA）	笹尾 逸郎			
8 8日目	I	医療機器開発と販売（業態・業許可・遵守事項）	株式会社 吉田製作所	山口 幸宏		株式会社 吉田製作所	山口 幸宏
	II	プログラム医療機器における必須知識	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	大竹 正規			
	III	医療機器と臨床評価	医薬品医療機器総合機構（PMDA）	方 真美			
	IV	医療機器開発と保険償還 医療機器の開発から販売、市販後まで ～保険制度の下で～	京セラ株式会社	谷岡 寛子			
11 11日目	I	【機器実習】ペースメーカー・ICD・CRTD	日本メドトロニック株式会社			日本メドトロニック株式会社	
	II	【機器実習】リードスペースメーカーとシミュレーター実習	日本メドトロニック株式会社				
	III	【機器実習】血糖値センサー	PHC株式会社				
	IV	【機器実習】心電計と携帯型心電計	フクダ電子近畿販売株式会社				
	V	【機器実習】ポリソムノグラフィと持続的自動気道陽圧ユニット（CPAP）	フクダライフテック関西株式会社				
	VI	【機器実習】腹膜透析（PD）機器：自動腹膜灌流装置と腹膜灌流用紫外線照射器	バクスター株式会社				
12 12日目	I	【機器実習】血液透析機器	ニプロ株式会社			ニプロ株式会社	
	II	【機器実習】内視鏡機器	オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社				
	III	【機器実習】鏡視下手術機器	オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社				
	IV	【機器実習】自動制御機能付き歩行器	RTワークス株式会社				
	V	【機器実習】3次元画像解析システム（画像診断ワークステーション）	富士フィルムメディカル株式会社				
	VI	【機器実習】義肢装具	川村義肢株式会社				
15 15日目	I	眠りを見える化する脳波センサーの開発と実用化	株式会社プロアシスト	宮田 愛子		株式会社プロアシスト	宮田 愛子
	II	医療機器販売ビジネスの実際と医工連携	株式会社カワニシホールディングス	前島 洋平			
	III	医療機器の保険診療上の評価 ～求められるエビデンス～	厚生労働省	古元 重和			
	IV	医療機器開発と臨床研究法	国立病院機構	楠岡 英雄			
	V	歯科臨床医のアイデアから大学発ベンチャー起業へ ～職務発明から、特許/開発/事業化、そして今～	大阪大学歯学研究所・株式会社アイキャット	十河 基文			
	VI	日本発、新しいタイプの外科用止血材の開発と実用化	三洋化成工業株式会社	前田 広景			
16 16日目	I	医師が経験を共有するためのクラウドサービス事業例	株式会社ハート・オーガナイゼーション	菅原 俊子		株式会社ハート・オーガナイゼーション	菅原 俊子
	II	Mobile×Cloudが変える医療現場のコミュニケーション～医療従事者用コミュニケーションアプリ「Join」の開発	株式会社アルム	坂野 哲平			
	III	Let's enjoy medical device development! ～在宅医療の時代を見据えたモバイル心電計の開発を通じて～	株式会社イメージワン	岡庭 貴志			
	IV	シート型体振動計「眠りSCAN®」の開発と事業化	パラマウントベッド株式会社	木暮 貴政			
	V	IoTがもたらすこれからのヘルスサポート	アルカディア・システムズ株式会社	相阪 渉			
	VI	慢性疾患でのPHRの臨床利用と有用性～医師がアプリを処方する時代～	株式会社ウェルビー	比木 武			

※ 敬称略

大阪大学教授、教員陣が贈る
臨床現場の最新の医学知識



医療機器開発の現場に携わる
企業マネージャーたちの経験



レギュラープログラム

受講料 230,400円(税込)



日程 6/1(土)～10/19(土) すべて土曜日開催
9:30～17:00

※1～4のモジュール単位での受講も可能ですのでご相談ください。

1

医療機器開発のための 臨床医学

6/1 6/8 6/22 6/29

医学部の講義を医療機器に特化した形で分かりやすくお伝え
します。医療機器開発に携わるメン
バーとなるために必要な医学知識を
習得し、**医療現場のニーズ**を理解
できるスペシャリストを目指します。

非医療従事者にもイメージし
やすかったです。本当に必要
とされているものが何か、そ
のヒント、考え方、捉え方が勉
強できありがたかったです。

2

医療機器開発の マネジメント

7/6 7/13 7/20 7/27

ビジネスとしてのアウトプットを目指す医療機器開発に必要な**組織運
営、資金戦略、開発、薬事・保険償還戦略、販売計画、出口戦
略**のマネジメントについて、それぞ
れの専門家から体系的な知識を学びます。
薬事については、**医薬品医療機器等法**
(旧薬事法)を中心に医療機器をとりまく
法規制について学び、電気安全、生体安
全など各種試験の実務を理解します。

ビジネスモデルを考えていく
中で、保険償還と出口戦略が
重要であることや、欧州と米
国、日本における医療機器の
制度の違いについて非常によ
く理解できました。

3

医療機器開発のための 機器実習

知財・リスクマネジメント実習

8/3 8/17 8/24 9/7

グループ実習形式で実際に現場で活躍する**最新の医療機器**
について**体験**しながら学びます。弁理士による**知財マネー
ジメント実習**では、開発する医療機器の知財をいかに保護するか
について考え、**リスクマネー
ジメント実習**を通じて患者さんにとって
安全な機器開発を行う方法について
学びます。

※大阪・東京で開催されます。大型機器について
は大阪会場のみとなります。

実際に腹腔鏡手術の難しさを
体験することができ、非常に
良かったです。誰でも簡単に
操作できる機器にこそ新たな
マーケットが存在すると思
います。

4

医療機器開発の 実践

9/14 9/21 10/12 10/19

企業などで実際に医療機器開発を実践してきた専門家から、自己
の経験をもとに**成功のポイント、
失敗談、危機をどのように乗り
越えたか**について学びます。教科書
通りにはいかない**実際の開発現場**
での対応を見据えた応用編としての
知識を身につけます。

ベンチャー、中小企業、大企
業、アカデミアのケースなど
たくさんの事例が学べてよ
かったです。自分の会社
にあった進め方を検討したい
です。

医療機器開発の即戦力となる スペシャリストへの近道



本コースは大阪大学エクステンション講座に認定されており、修了要件
を満たした方には、大阪大学総長名の修了書を交付させていただきます。

臨床医学は
大阪大学医学部の
現役教員陣
が担当



講義風景



講義中は
Webで質問
が可能。

MDDネットワーク



同じ医療機器開発を目
指す受講生同士の交
流。ここから新しいビジ
ネスが生まれています!

リスクマネジメント実習



機器実習



臨床現場で活躍する
機器を、医師や患者さ
んの立場で実際に体
験!!



アドバンスプログラム

受講料 50,000円(税込)

※本プログラムはシリーズで
行うため、診療科、体験部署
はその都度異なります。

医療機器開発 のための病院実習

※日程は別途案内

実際の病院で医師たちの解説を聞きながら、医療従事者のチームに混じって臨床の現
場を体験します。手術の見学に加え、日々ベッドサイドで働く看護師のニーズや、患
者さんの声を聞きながら、今後の医療機器開発について考えます。

全レギュラープログラム
を受講いただく方は、
アドバンスプログラム
として、阪大病院での病
院実習にお申し込みい
ただけます。

手術室



病棟



内視鏡室

